

授業概要

産業心理学(産業・組織心理学)では産業における人間行動を研究し、産業領域での人と組織との適正な関係性構築や発展を目指している。主には「人事・組織行動・安全衛生・消費者行動」の4分野から構成されているが、本講座では産業における多様な心理学的知見に関する講義と演習を行う。働くことや労働環境の変化についての理解を深め、産業社会での様々な現象や問題について理解し、今後の社会人生活に活かすことを期待する。

授業は主には講義形式で行うが、映像視聴や個人ワーク・グループワーク、グループ討議など学生参加型の指導も取り入れるため、積極的な受講態度を期待する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス(授業の進め方、産業心理学とは)
第 2 回	働くこととは
第 3 回	職場環境の変化と社会的自立
第 4 回	よく生きるとは(ワーク・ライフ・バランス、ワーク・エンゲイジメント)
第 5 回	採用と面接、能力開発
第 6 回	ワーク・モチベーション
第 7 回	個人と組織の関係、組織への適応
第 8 回	中間総括
第 9 回	キャリア発達支援
第 10 回	職場におけるリーダーシップ
第 11 回	組織風土、職場でのハラスメント
第 12 回	職場のストレスとサポート
第 13 回	ヒューマンエラーと安全管理
第 14 回	消費者行動(買い手・売り手の心理)
第 15 回	全体総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・産業社会や社会的自立についての理解を深め、産業心理学の主要概念を組織と個人の視点から理解できる。
- ・産業社会で起きている様々な現象や問題について理解できる。
- ・人が組織に参入し適応するプロセスが理解できる。
- ・職場におけるさまざまな環境変化や人間関係への理解を深め、今後の社会人生活に活かすことができる。

履修上の注意

- ・講義だけではなく、グループ討議やワーク演習など学生参加型の学修時間があることを理解したうえで履修すること。
- ・授業中の私語、授業と関係しない作業(携帯等の使用など)を禁止。30分以上の遅刻は欠席扱い(電車遅延など合理的理由がある場合は、証明書の提出を)。受講態度により、座席指定をする場合もある。
- ・受講学生の希望や状況、進み具合により、授業計画の順番を入れかえることや、内容を一部変更することもある。

予習・復習

- ・毎回、最後にポイントを確認する時間を取るため、復習に役立てること。
- ・ワークシート課題など、予習(宿題)を設定する回もある。

評価方法

授業内レポート 30%、中間レポート 20%、定期試験 50%を総合的に判断する。

テキスト

教科書指定はなし。授業用資料を毎回配布し、参考図書を適宜紹介する。